

技術動向調査「炭酸ガス・随伴ガス処理技術に関する調査」

報告会開催案内

弊機構では、石油・天然ガス開発における炭酸ガス・随伴ガス処理技術の最新動向を調査することを目的として、本年度、技術動向調査「炭酸ガス・随伴ガス処理技術の調査」を実施しております。今般、本調査結果につきまして、下記の要領にて報告会を開催致したく御案内申し上げます。

つきましては、大変お手数ではございますが、ご参加を希望される方のお名前を添付の申込書にご記入の上、**3月20日(火)まで**に下記担当者(鳥居)宛 FAXにてご連絡頂けますようお願い申し上げます(E-mailにて添付申込書の必要事項をご連絡頂いても結構です)。ご不明な点等につきましても同担当者までお問い合わせ下さい。尚、会場の都合上、参加人数を制限させて頂く場合もございますことを予めご了承下さいますようお願い致します。

記

| | |
|----------|--|
| 日時 | 平成 19 年 3 月 27 日(火) 10:30 ~ 16:30 |
| 会場 | (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 東京カンファレンスルーム 〒105-0003 東京都港区西新橋 2-8-6 住友不動産日比谷ビル 12F Tel:03-3591-5192 (別添会場地図参照) |
| 報告者(委託先) | Mr. John Ruby, Mr. Scott Olson, Mr. John Servello, Mr. Don Andress (Nexant 社) |
| 報告内容 | 炭酸ガス・随伴ガス処理技術に関する調査結果について報告する。 (別添参照) |
| 参加費用 | 無料 |
| 使用言語 | 英語(通訳なし) |

<担当者>石油・天然ガス開発技術調査グループ開発技術審査チーム 鳥居 浩
(Tel:043-276-4437 /Fax:043-276-9258 /E-mail: torii-hiroshi@jogmec.go.jp)

技術動向調査 「炭酸ガス・随伴ガス処理技術に関する調査」

1. 調査背景・目的

石油開発現場においては、燃焼機器やプロセスから発生する炭酸ガス(以下、CO₂)は大気放散することが一般的である。一方、随伴ガスについては、ガスの特性による取扱の難しさや、市場確保の難しさから、燃焼廃棄(フレア)処理または、油層への再圧入が一般的である。

地球温暖化ガス(CO₂、炭化水素ガス等)を削減する方向性は、1997年の気候変動枠組条約第3回締約国会議(京都会議)以降急激に強くなっており、海外ではCO₂隔離(Sequestration)プロジェクトが石油・天然ガス開発プロジェクトに付帯するケースも欧州中心に見受けられる。

一方、随伴ガスについてもフレア処理を避け、産油国のガスマネタイズの要求から、油層への再圧入、ローカルマーケット販売、GTL(Gas To Liquid¹)、GTW(Gas To Wire²)等の費用が高む選択肢を取らざるを得ない状況になりつつある。

JOGMECが行った民間石油開発関連会社へのヒアリングの結果、上述の背景を踏まえて、CO₂回収・処理技術並びに、随伴ガス有効利用技術に関する情報要求が高いことにより、本年度の技術動向調査のテーマの一つとして調査を行うこととした。

本調査では石油・天然ガス開発に係る技術を中心とした開発現場に適用できるCO₂処理及び、随伴ガス処理技術並びに、それらの特徴、導入費用等を把握し、新規プロジェクト及び、追加設置等の検討に資する情報を提供することを目的としている。

2. 報告会スケジュール

10:30-12:30 「Treatment Technology of Carbon Dioxide」

- Introductions
- Survey Scope & Objectives
- Commercial CO₂ Technologies
- New Technologies, R&D
- Carbon Management Technical & Global Issues
- Cost and Economic Data
- Sequestration Technologies & Economics
 - ・ CO₂ Capture
 - ・ Transportation (pipeline)
 - ・ Injection
 - ・ Measuring, Monitoring, Verification & Mitigation

¹ GTL：天然ガスを化学的に反応させて液体炭化水素燃料として、市場へ販売するコンセプト

² GTW：天然ガスを利用して開発現場にて発電し、近傍の電力市場へ売却するコンセプト

- Survey Case Studies
 - Gorgon
 - Snohvit
 - SACROC

14:00-16:30 「Treatment Technology of Associated Gas」

- Associated Gas Survey Introduction
- Associated Gas Development & Utilization
- Gas Treatment Technologies
- Cost and Economic Data
- Survey Case Studies
 - Cooper Basin, Australia
 - Permian Basin, United States
- Meeting Conclusion Discussion

会場地図



都営三田線「内幸町駅」より徒歩 3 分

JR 線・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩 6 分

東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」より徒歩 8 分

(Fax:043-276-9258)

宛先: JOGMEC TRC 開発技術審査 T 鳥居

技術動向調査「炭酸ガス・随伴ガス処理技術」報告会[3/27(火)]参加申込書

| | | |
|-----------------------------------|-------------------|-------|
| 会社名 | | |
| 代表者 | ふりがな お名前 (ご担当) | () |
| | 部署名 | |
| | ご連絡先 | (電話) |
| | | (FAX) |
| (E-Mail) | | |
| 参加者 (代表者以外) | ふりがな お名前 (ご担当) | () |
| | ふりがな お名前 (ご担当) | () |
| | ふりがな お名前 (ご担当) | () |
| | ふりがな お名前 (ご担当) | () |
| 連絡事項 (連絡事項等ございましたらご記入願います) | | |

3月20日(火)までにご送付頂けますようお願い致します。